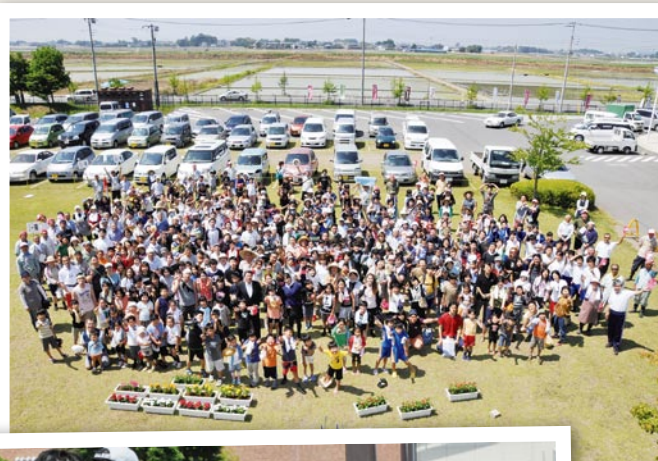


苗で描く 忍城とのぼう様

6月6日、古代蓮の里東側の水田で、田んぼアート米づくり体験事業の田植えが行われました。

今年の絵柄は、公募された忍城と歴史小説「のぼうの城」のカバーイラストとして描かれている“のぼう様”こと成田長親。当日は、東京からのツアー客なども含め、県内外から総勢377人が、昨年の2倍以上に作付面積を拡大した広大な田んぼに集まりました。

参加者らは、ぬかるんだ田んぼに足を取られながらも、彩のかがやき、白いかげやき、濃紫稲の3種類の苗を、丁寧に植えていました。



きれいな放物線を描いて

6月17日、水城公園あおいの池で南小学校3年生らによるホテイアオイの投げ込みが行われました。

児童らは、きねや足袋株式会社や熊谷市在住の田中稔さんらにより育てられた約1万株のホテイアオイを両手一杯に抱え、元気な掛け声とともに、一斉に池に投げ込みました。きれいな放物線を描きながら投げ込まれたホテイアオイは、9月ごろ池一面に薄紫色の花を咲かせることでしょう。

行田のまちをみんなでゴシゴシ

5月29日、第10回「行田のまちをゴシゴシみんなでクリーンなまちづくり」清掃活動が行われました。

市役所に集合した286人の参加者たちは「行田のまちをきれいにしよう」と拳を突き上げて意気込みを表し、作業開始。水城公園内および公園通りの清掃活動や持田地区内の違法チラシの除却作業を行い、汗を流していました。自分たちの手でまちをきれいにした達成感から、参加者誰もが晴れやかな表情を見せていました。

